

## 令和元年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第2回）議事要旨

1 日 時 令和元年7月16日（火）9：25～11：55

2 場 所 新見市役所南庁舎 3階会議室3B

### 3 出席者

(1) 評価委員会 田中委員長、中西委員、赤木委員

(2) 事務局 小林課長、難波参事、稲岡主事

### 4 議 事

#### (1) 平成30年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

第1回評価委員会における新見公立大学からの説明に基づき、各委員が意見等を発表した。

今回の審議結果に基づき、次回評価委員会では、事務局がとりまとめた項目別実績報告書（案）及び全体評価結果（案）についての内容確認を行うこととなった。

詳細は、以下のとおり。

発言（○委員、●事務局）要旨	取りまとめ結果 及び 発言（○委員、●事務局）要旨
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>○地域をフィールドとする授業を各学科とも取り入れている。地域にとっても刺激となり、両者にとって有益である。4大化以後も授業等を工夫していただきたい。</p> <p><u>看護学科について</u></p> <p>○ほぼ全員の学生が国家試験に合格している点について評価できる。国家試験の合格率は昨年度に引き続き高く、学生は目的意識を持って学修し、学校の支援体制も充実していることがうかがえる。</p>	<p><b>大項目総評価 3</b></p> <p><b>評価項目評定 4</b></p> <p>○昨年度と比較して、国家試験の合格率が上回っており、教育の内容も充実している。</p>

幼児教育学科について

「にいまゆめのほけっと」

- 来場者数は昨年に比べてどうなのか。
- 引き続き来場者の維持と活発な活動を期待する。

「交流ひろば“にこたん”」

- 学生が自主的に“にこたん”に参加することは単位取得に換算されるのか。
- 中学生・高校生が参加することはあるのか。

- 専門職で就職率100%は素晴らしいことである。大学の教育内容、教員の支援体制が適切であり、学生の目的意識、学習への意欲がブレていないことの現れではないか。

助産学専攻科について

- 国家試験の合格率が100%であり、既卒者に対するフォローがされていることは、他大学を見ても素晴らしい。

地域福祉学科について

- 地域と協力した認知症患者検索訓練が地区定例行事となっていることは、他大学にはない特色のある取組であると感じる。今後も継続して実施してもらいたい。

英語教育・海外研修について

- 将来的に、介護・看護職は外国人労働者

●昨年は約250人であった。

●単位取得には換算されない。

●中学生は職場体験で参加する機会がある。

※《会議後確認内容》

職場体験の外、社会福祉協議会が実施するボランティア活動で中学生・高校生が“にこたん”へ参加する機会がある。

<p>を雇用する時代となると思われるため、世界共通語である英語教育は充実させる必要性を感じる。</p> <p>○学生が海外研修や英語サロンに参加することは良いことであるが、それによってどの程度英語が身についたかはわかりづらい。どの職種でも英語力が求められている中で、英語で会話ができるようになる能力を身に付けることができる授業・対応を考えてもらいたい。</p> <p>○英語サロンのように、英語に興味のある人が自主的に英語を学習する場に参加する機会があることは良いことである。</p> <p>○海外研修に参加することについて、英語のできる・できないに関係なく、日本との違いについて勉強することは良いことである。</p> <p>○海外研修先がなぜカンボジアなのか。</p>	<p>※《会議後確認内容》</p> <p>難波前学長が県内の『カンボジアの村を救う会』とつながりがあり、同会を通じて、カンボジアの国際ボランティアを始めた。</p>
<p>2) 教育の実施体制</p> <p>○非常勤講師とはどのような勤務形態なのか。</p> <p>○授業評価について、「マークシートに変更した。その結果が授業改善につながった」とあるが、どの様に授業改善につながったかが読み取れない。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>●講義を1コマ受け持つのではなく、必要な時に来てもらう形態である。</p> <p>●「マークシートに変更したことで回答率が向上し、学生の声が教員へ伝わり、授業改善につながった」などといった詳細を記述すべきである。</p>
<p>2 研究</p> <p>1) 研究の内容</p> <p>○P9(4-1)の各種出版物やチラシ、研修会</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>●4大化により新たに追加された研究科目</p>

<p>を活用した大学の活動の周知や、P9 (4-2) の市民、学生及び受験生等への大学情報の公開は、大学全般の情報の情報発信なのか。そうであれば「1) 研究の内容」の項目に記載することは適当なのか。記載内容からは読み取りづらい。</p>	<p>(特別支援、発達障がいなど) についての広報を目的としている。</p>
<p>2) 研究の実施体制 特になし。</p> <p>3 学生の確保及び支援</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p>
<p>1) 学生確保</p> <p>○地域優先枠の拡大は良いことである。地元で学んで地域へ貢献する人が増えることは良いことである</p> <p>●大学からの説明で、インターネット出願にしたことで、教員に負担が増えたと説明があったが、その真意は。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>●14名が合格した。</p> <p>●教員の負担が増えたのではなく、初年度のシステム構築に係る事務として、事務局職員の負担が増えたということ。</p> <p>●出願は学部生はインターネット出願のみ、大学院・助産学専攻科は費用対効果の面から紙による出願のみとした。</p>
<p>○4大化初年度にもかかわらず、1学科では定員割れがおきている。大学の努力だけでは学生確保が困難となっており、地域としてどうしていくかである。</p>	
<p>2) 学生の支援</p> <p>○保護者面談を実施している点は特徴的であり素晴らしい。教員には負担が大きいと思うがよくやっている。</p>	<p><b>評価項目評定 4</b></p>
<p>○キャリアインサイトは実際に導入したのか。</p>	<p>●検討中である。</p>
<p>○キャリア支援センターの職員配置は。</p>	<p>●山内教授(兼務)と、能勢 修氏(元岡山大学事務局職員、週2, 3日勤務)を配置。</p>

<p>○学生募集に教員が出向いているが、専門の職員が必要なのではないか。教員は教育・研究・地域貢献等に専念できる様な体制をとるべき。</p> <p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 地域社会への貢献</p> <p>○地域共生推進センターや教育支援センターは開設されて間もないため、存在を対外的に情報発信していくことで、地域とのつながりがスムーズに行くのではないか。</p> <p>○教育支援センターと市で連携して就学前教育・保育の共通カリキュラムを作成していることは、大学があるからできることである。</p> <p>III. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善及び効率化</p> <p>●予定していた教員は確保できたのか。</p> <p>○採用した教員は市外の人か。</p> <p>2 人事の適正化</p> <p>●地域共生推進センター棟は建設中だが、機能を先行して開設しているため、市民のみなさんへ伝わりづらい。</p> <p>IV. 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>●学生募集、キャリア支援、財務関係についてはプロパー化が可能である。</p> <p><b>大項目総評価 3</b></p> <p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>○「塩から子」「中世たたら」だけではなく、「ふるさと祭り」などの学生が活躍できる場面がまだまだあるため、積極的な学生の参加を期待する。</p> <p><b>大項目評定 3</b></p> <p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>●20人を確保する計画の中で17人を確保した。</p> <p>●全員市外である。</p> <p><b>評価項目評定 3</b></p> <p><b>大項目評価 3</b></p>
---	--

<p>1 自己収入の確保</p> <p>○公開講座は受講料を取るのか。</p> <p>●「1 自己収入の確保」の項目からすると、開催回数ではなく、収入額を記載すべき。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>●1回300円、4回（セット）1,000円</p>
<p>2 外部資金の確保</p> <p>特になし</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p>
<p>3 経費の抑制</p> <p>○特定の職務についてはプロパー化の余地がある。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p>
<p>V. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p><b>大項目総評価 3</b></p>
<p>1 自己点検及び自己評価</p> <p>特になし。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p>
<p>2 情報公開及び情報発信</p> <p>○大学案内のデジタル版のホームページへの掲載を始めたのは今年度からか。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>●今年度から。</p>
<p>VI. その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p>	<p><b>大項目総評価 3</b></p>
<p>1 施設・設備の整備及び活用</p> <p>特になし。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p>
<p>2 危機管理及び安全管理</p> <p>○実習の実施時期に限らず、学科の特性上、インフルエンザ予防接種を全員に受けさせるべき。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p>
<p>VII. 予算、収支計画及び資金計画</p> <p>特になし。</p>	<p><b>評価項目評定 3</b></p> <p>財務諸表、決算報告書について特に問題なし。</p>

<p>VIII. 短期借入金の限度額 特になし。</p>	<p>評価項目評定 3</p>
<p>XI. 剰余金の使途 特になし。</p>	<p>評価項目評定 3</p>
<p>XII. 新見市地方独立行政法人法施行規則で定める事項</p> <p>○工事が遅れていると耳にしたが。</p> <p>[全体評価]</p> <p>○プロパー職員の配置については昨年度から進捗が見られないため、市と協議をして進めていただきたい。</p> <p>○インフルエンザ予防接種の接種率を向上させる努力が必要。</p> <p>○財政的には健全である。</p> <p>○4大化への移行はスムーズに進んでいると感じる。</p> <p>○中・長期的な学生の確保が課題となるが、地域としての危機感がなく、大学があることのメリットについて市民に意識がない。“大学を活かしたまちづくり”を謳っているが、まだまだ認知が低いと感じる。地域共生推進センターを活かして、地域へ解け込んでいていただきたい。</p>	<p>評価項目評定 3</p> <p>●4月の段階では岩盤の出現や想定外の土質により、予定より若干遅れていたが、6月の段階では概ね計画どおりである。</p>

(2) 次回開催日について

令和元年7月30日(火)9時30分から、市役所本庁舎3階第4委員会室で開催することとした。